

二〇二〇年度 入学試験問題

国語総合 (試験時間 60分)

※ 問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 2 問題冊子は10ページで、解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ってください。

一 次の文章は画家である著者が絵を描くことについて書いたものです。よく読んで、後の問いに答えなさい。なお、解答はすべて所定の解答欄に記入しなさい。

### 個性は今以上なくていい

1 素直に描く絵には、自然と自分が出ます。反対に変わった表現で制作をすると、どんどん自分の本質が作品から消されていつてしまうのです。自分がどこかにいつてしまい、わからないという絵になっていつてしまいます。そして自分でも二度とそんな世界は描けない、という感じになってしまいます。それはよいことではありません。

あるひとときの感情の高ぶりや気まぐれが画面を支配してしまうということは、ひとつの気持ちの記号のようなものになってしまいます。つまり「信号」のようなもので、単純なものなのです。オレは楽しい、とか、わたしは悲しい、とか。信号として他人に伝わったとしてそれがいつたい何になるのでしょうか。美術は全人格的な表現です。ア喜怒カアイラクがあつてはじめて「人間的」です。そうでなければすぐ飽きられてしまいます。

絵とはたしかに人間的なものです。楽しいとき、悲しいとき、うれしいとき、さまざまな心に対応してくれる多重的な存在なのです。個性的、と思つてやればやるほど、一面的でイ単視眼的、むしろ一人の人間の心の限界が見えてしまいます。人間の考えることなどたかがしれていますし、そもそも人間は皆同じですから、結局そのようなことは皮肉にも皆似てきてしまうものです。わざわざ絵にまでしなくても十分わかっている、そう思われてそれでおしまいです。いかにそれを超えるか、ということこそ目指すべきものです。

そもそも個性というものは、髪を金に染めたとか、青いアイシャドーをつけました、とかそんなものではないのです。自分から押し出していけるものではないのです。私の経験から言えば、「私は個性的だから」と言っている人が個性的であつたためしはありません。ただ癖つぽく、わがままで、思い込みが強いだけなのです。

超一流の国際展のレセプションに出席してみると実に面白いことに気づきます。芸術家つぽい変わった服装をしている人は、ま

ず出品している作家ではありません。そうなりたい二番手の連中や「とりまき」です。本人たちはグレーのスーツにノーネクタイとか実に地味なものです。びっくりするような「格好」で歩いている芸術家がいたら、まず間違いなく作品は大したことありません。これは私の経験上の事実です。中身に自信がないので大げさな「よろい」に身を包んで歩いているのか、と誤ってしまいます。そんなところで自己主張しないでほしいものです。

逆に「私は個性的でなんかない」と本気でそう思っている人は、とんでもなく変わった作品をつくっていたりしますので、いわば要注意。これも本当です。自信の表れ、ということと、もう一つ、夢中になってものをつくっているの、他人から見ても服装が個性的かどうかなどという相対的なことにはまったく関心がないのでしょうか。個性とは隠してもどうしようもなくにじみ出てきてしまうものことです。このような人に出会うと、経験上私は「おぬし、できるな」と直観的に感じ、思わず身構えてしまいます。

私はつねに 2 個性は今以上なくていい、と公言しています。ギリシャ、エジプトの美術を思い出してください。個性的に描こうなどとはけっして思っていない作品です。だからこそ、その時代という強い個性が結果的に浮かび上がって、なおかつすべてを超えて人々に理解されているのです。大切なのは普通の人が見て、何で今までこれがなかったのだろうと思えるような、切り口の獨創性ということ。良いものはすべてずっと前からあってもおかしくないとと思われるような、そんな普通で確かなものです。今までなかった、それに気づくということ。その切り口を見つけ出すこと。これが大切です。

普通の人が、普通に見て感じることに、これが時代を超え、民族も超え、思想や宗教さえも超えてゆく キフヘン 性ということ。新鮮な切り口こそ求められているものです。そして普通にしても十分個性は出ているものです。あなたを間違える友達はいません。これが必要にして十分な個性です。無個性な人というのはいるわけがありませんし、もしいたらこれは逆に驚くべき個性です。そんなさまざまな個性の人たちが口をそろえて美しいと言う、美しい と言う、それは本当に尊いものです。異なる私たちが皆同じ人間だ、と教えてくれているのです。

素直に見て、素直に描く

また、石膏デッサンをやると個性がなくなる、と本気で考えている人たちが大勢います。これは困ったことです。本人の持っている癖つぼさや変なこだわりを直してゆくのに、これはとても適しているのです。

石膏デッサンをやったために個性が消えた、そんな人がいたら会ってみたいものです。同じ給食を食べたらクラスメイトが皆同じ顔になってきたということと同じくらい馬鹿馬鹿しい話です。

石膏デッサンを通してもっとそっくりに描こう、もっともっと似せたい、その思いが無心になって物に迫る「夢中」ということを教えてくれるのです。

私は二浪して芸大に入学しました。本当に多くの石膏をデッサンしました。その結果わかったことですが、本当にすばらしいデッサンはみごとに描いた人の良さ、美意識、空間感覚などが表れて、それは美しいものです。つまりとても「個性的」なものです。描いた人をおぼろげな想像できます。こんな人だろう、と思うと、だいたい当たっているようです。

結局、個性とは、消そうとしても浮かび上がってくるものこと。付け加えて出してゆくものではないということがここからもわかります。自分の中から「癖つぼさ」や「あく」、「性格的なこだわり」とか「思い込み」、これをどうやって取り除いていくか。そのあと、<sup>3</sup>ここには「個性」が美しく残ります。

石膏デッサンや、**オ**静物のデッサン、スケッチなどを通して、自己主張し、変に自分を出すのではなく、りんごを描くときは、実に不思議なものが目の前にある。なんだろう、なんてすごい色、形なんだろう、神様、なかなかやるな、と叩いてみたり、**ク**ミツがたくさん詰まった美味しそうな香りを**ケ**カいでみたり、持ってみたりする。とにかく、<sup>4</sup>五感で観察をして「そっくりに描く」とを心がけることです。これができなくては「物」に迫ることも、「自分」を知ることできません。

とにかく自然に素直に見て、素直に描く。このことが一番です。変わったことをしよう、奇を衒ったことをやろう、ショックやセンサーションを与えよう。そういうようなことはやればやるほど、自分自身もわけがわからなくなってしまいます。どこかに埋もれていってしまう。<sup>5</sup>素直に見て、素直に描くというのは本当に大切なことなのです。

6 最後はその人の人間性なのです。自分自身が鏡のように絵の画面に出てしまいます。人間の個性が実は作品の個性になっていくのです。こんな人が描いたのだらう、とわかるわけです。素直に見て、素直に描く。ものに出合ったときの感動や描きたい気持ち、小さな驚きや自分の感性を「ユリ動かしようなちよつとした出来事にも心を配るように心がけるのです。そういうやさしさをつねに持つことによって、素直に感じて本当の自分らしさ、すなわち「個性」的に描くことを学べるのでしよう。

(千住博『絵を描く悦び』光文社新書より)

問一 二重傍線部ア、オの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問二 二重傍線部カ、コのカタカナに相当する漢字を楷書で書きなさい。

問三 傍線部1「素直に描く絵には、自然と自分が出ます。反対に変わった表現で制作をすると、どんどん自分の本質が作品から消されていってしまうのです」で、筆者が主張したいことは何か。最も適切なものを次から選びなさい(以下、選択肢問題は、記号・番号で記入すること)。

- ① 素直に描くと自分が出てしまうが、変わった表現で消すことができる。
- ② 素直に描いて自分を出したり、変わった表現で自分を消したりすることができる。
- ③ 自分が出たり、自分の本質が消えたり、絵とは不思議なものだ。
- ④ 自分の本質を出したいならば、素直に描くことだ。
- ⑤ 変わった表現で制作することによって、自分にはないものを出せる。

問四 傍線部2「個性は今以上なくていい」の意味として最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 人間は皆同じだから個性はいらない。
- ② 個性的と思っただけでやっていることが個性的であつたためしがない。
- ③ 普通にしても個性は十分に出ている。
- ④ 大げさな自己主張で個性が出るものではない。
- ⑤ 個性は隠すべきである。

問五 傍線部3「ここには「個性」が美しく残ります」の「個性」とはどんなものですか。**不適切なもの**を次から選びなさい。

- ① 描いた人の美意識
- ② 描いた人のこだわり
- ③ 描いた人からにじみ出てくるもの
- ④ 描いた人の空間感覚
- ⑤ 描いた人の良さ

問六 傍線部4「五感」とはどんな感覚ですか。**不適切なもの**を次から選びなさい。

- ① あじわう
- ② みる
- ③ ふれる
- ④ かぐ
- ⑤ きく
- ⑥ いう

問七 傍線部5 「素直に見て、素直に描く」の意味するところで、最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 自分のこだわりを大切にして描くこと
- ② 自分の感情や気持ちをそのまま出して描くこと
- ③ 無心になってそっくりに描くこと
- ④ 自己主張するように描くこと
- ⑤ 自分の個性を目立たせるように描くこと

問八 傍線部6 「最後はその人の人間性なのです」の「最後は」と同様の用例を次から選びなさい。

- ① 最後は残念な結果でした。
- ② 最後は熱意がものをいいます。
- ③ 最後は借金だけが残りました。
- ④ 最後は正直者の出番です。
- ⑤ 最後は社長の挨拶です。

問九 筆者の考えにしたがって、良い絵とはどのような絵であるか、悪い絵とはどのような絵であるかを回答欄に書きなさい。

二

次の文の（ ）の箇所などの語句を補えばよいのか、最も適切なものを、それぞれア～ウの中から選びなさい。

- 1 息子は猫の行動に興味（ア 津津 イ 深深 ウ 振振）でした。
- 2 この作品は、血と（ア 肉 イ 涙 ウ 汗）の結晶です。
- 3 政府に災害対策の（ア 即効 イ 即行 ウ 即攻）を迫った。
- 4 彼はこのチームにとって（ア かけがい イ かけあい ウ かけがえ）のない選手だ。
- 5 こころざしの（ア 半ば イ 仲ば ウ 中ば）で断念せざるをえなかった。

三

次の1～5は、目上の人やあまり親しくない人に対する言い回しです。最も適切な表現をア～ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 1 席があくまで、こちらで（ア お待ちかね イ お待ちになって ウ お待ちして）ください。
- 2 お飲み物は、何に（ア なさいますか イ されますか ウ しますか）。
- 3 こちらが赤ワイン（ア になります イ です ウ でございます）。
- 4 社長は五時に（ア おいとまされる イ お帰りになる ウ しっけいされる）そうです。
- 5 先生は、すでに（ア いらっしやっています イ まいられています ウ こられています）。



四

次の傍線部のカタカナにあてはまる漢字を、それぞれ後ろの語群から選び、記号で答えなさい。

- 1 砂漠地帯では長いカンキが続く。
- 2 春が近づき、カンキがゆるむ。
- 3 暖房中は部屋のカンキに気をつけよう。
- 4 勝利した選手はカンキのあまり涙を流した。
- 5 インフルエンザが流行しているので注意をカンキした。

(ア 換気    イ 寒気    ウ 勘気    エ 歓喜    オ 管気    カ 乾季    キ 感喜    ク 喚起 )

- 6 部屋にはカンヨウ植物を飾った。
- 7 何事にも辛抱がカンヨウだ。
- 8 カンヨウにしたがって、この表現を使っています。
- 9 カンヨウの精神で相手を思いやることが大切です。
- 10 説明はカンヨウをもってよしとする。

(ア 寛容    イ 閑葉    ウ 刊要    エ 慣用    オ 完用    カ 簡要    キ 観葉    ク 肝要 )

11 イを決して立候補した。

12 虎のイを借りる狐のようなものだ。

13 君の意見にイを唱えるつもりはないが、賛成はできない。

(ア 威 イ意 ウ衣 エ異 オ射)

14 千載一遇のコウキが、ついにやってきた。

15 その村でコウキの目にさらされるのは苦痛だった。

(ア 好奇 イ好気 ウ好機)

**五**

次の1～5の空欄に適切な漢字を入れて四字熟語を作りなさい。(A)漢字はア～コから選び、記号で答えなさい。また、(B)正しい意味をa～gから選び、記号で答えなさい。選択肢には使わない漢字や意味もあります。

1 花鳥□月

2 山□水明

3 □鏡止水

4 千紫万□

5 容姿□麗

(A) (ア) 紅 イ 紫 ウ 川 エ 風 オ カ 美 キ 端 ク 知 ケ 明 コ 緑 )

(B) a 山や川の景色が美しいこと

b 自然の美しい風景

c 色とりどりの花が咲き乱れているさま

d すぐれた才能と美しい容姿の両方を兼ね備えていること

f 顔や体が整っていて美しいこと

g 邪念のない、静かに澄んだ心境のこと

一

二

三

四

五

二〇二〇年度 国語総合 解答用紙

氏名

受験番号

問九		問三	問二	問一
悪い絵 など 無 理 に 個 性 を 出 し て 自 分 の 本 質 を 失 っ た 絵。 無 理 に 個 性 を 出 し て 自 分 の 本 質 を 失 っ た 絵。 無 理 に 個 性 を 出 し て 自 分 の 本 質 を 失 っ た 絵。	良い絵 など 素 直 に 見 て 、 素 直 に 描 い た 絵。 無 心 で 観 察 し た ま ま 、 そ っ く り に 書 い た 絵。 そ の 人 の 個 性 が 自 然 に に じ み 出 た 絵。	4 問四 3 問五 2 問六 6 問七 3 問八 2	カ 哀 楽 キ 普 遍 ク 蜜 ケ 嗅 コ 揺	ア き ど イ た ん し が ウ か っ こ う エ せ っ こ う オ せ い ぶ つ
8	8	24 4*6	10 2*5	10 2*5

1	1	1	11	6	1
ア	イ	イ	イ	キ	カ
2	2	2	12	7	2
ウ	ア	ア	ア	ク	イ
3	3	3	13	8	3
イ	ウ	ウ	エ	エ	ア
4	4	4	14	9	4
ウ	イ	イ	ウ	ア	エ
5	5	5	15	10	5
ア	ア	ア	ア	カ	ク
5	5	5	15	5	5
1*5	2*5	各1点	15	5	5

B	A
1	1
b	エ
2	2
a	イ
3	3
g	ケ
4	4
c	ア
5	5
f	キ
5	10
1*5	2*5

Blank boxes for answer 5

Blank boxes for answer 4

Blank boxes for answer 3

Blank boxes for answer 2

Blank boxes for answer 1